

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部看護学科

名 前 望月聡一郎

作成日 2023年9月28日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

地域看護学概論（必修、2年）、保健統計学（保健師コース必修、3年）、健康看護論（保健師コース必修、4年）、看護研究Ⅱ（必修、4年）、統合実習（必修、4年）公衆衛生看護学実習（保健師コース必修、4年）、国際保健学（選択、3年）

看護学科教務委員、看護学科危機管理衛生委員、看護学科学生委員、看護学科3学年担任

2. 理念（教育に対する考え方）

保健医療福祉制度や医療・看護学における公衆衛生的な知識を基本として、保健師及び看護師のコースを選択する学生に対し、多種多彩な医療・看護学の学びを基礎として、医療機関や地域社会において保健医療分野に展開するための知識／技術教育、機関調整を含む対人援助業務ができる保健医療専門職として教育を行う。大学卒業後に社会人となる学生に対し、社会人としてのアイデンティティの認識を促す指導や関わりを行う。入学時点での基礎学力の差異を前提としつつ、ひとりひとりの学生が学ぶ楽しさを自分自身で実感できるよう、学習の理解度・関心等を把握し、授業を展開している。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

保健師／看護師の国家資格取得に必要な基礎的知識／技術を身に付けるための授業カリキュラムに沿った科目教育を履行する。国家試験出題基準を念頭に授業の設計及び展開を行い、実際の国家試験問題を教材として活用しながら学びを深めていく。講義形式に学生発表の機会を取り入れたアクティブラーニングの手法の導入、教員とのディスカッションをとおして、学生自身が学ぶ楽しさを実感できるよう、学習の理解度・関心等を把握している。大学卒業後に社会人となる学生に対し、社会人としてのアイデンティティの認識を促す指導や関わりを行う。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

国家試験問題を題材に問題演習を行いながら学習項目の理解を深める授業展開をしているが、教員が意識していないところで、解説を端折っているために学生自身が十分に理解できていないのではないかと感じている、という指摘を受けたことがある。時間の制約を考慮しつつ、難易度が高い問題の演習においては、グループワークの手法やLTDの手法を用いて、学生相互のグループダイナミクスを活用しながら、学生の主観的な理解度と学習意欲を満たす工夫をしながら、授業を展開している。また、複数の講師で運営する、オムニバス形式の授業では教員間の連絡を密にしながら適度に授業内容をリンクさせながら授業展開をしていることが、高評価を得ているのだと考えている。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

保健医療専門職として働くことになる学生が、実社会での学びの基盤となる基礎的学修内容について、より深い学びとなるような教示ができるために、積極的に研修会や学会などに参加し、成人に対する教育方法（教育設計方法）を学生の習熟度に合わせつつ工夫しながら授業等で実施していきたい。

- ・ 短期目標：科目教育の履行（受講学生の単位取得、各学年末）
- ・ 中期目標：進級及び国家試験合格、ベトナム留学生の日本語検定試験 1 級合格

* 表紙を含め、全体として、3 ～10 ページ程度とします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。）